

# 交渉結果報告書

市長公室人事課

## 交渉内容 2024秋闘回答交渉【3回目】

交渉日時 令和6年12月18日(水) 15時00分～17時00分

交渉場所 水道庁舎 3階大会議室

交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 岡野人事課長 足立人事課副課長 山村人事研修係長

組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計11人

概要	2024秋闘回答交渉(3回目)を行った。
組合の主張	<p>扶養手当、前歴等については引き続き検討、休暇については国に準じて改定される方向と理解している。不利にならないように対応してもらいたい。</p> <p>他律的業務の比重が高い部署に指定されていなくても時間外勤務が多い職場がある。指定が必要ということではなく、状況の確認と対応をしてもらいたい。</p> <p>作業技師削減について、現場は不安に思っている。定数が削減されることで他の職種に異動する場合、それは大きなストレスになる。所属長からしっかりと説明が必要。</p> <p>作業技師の現場では近年気候も過酷になり、メンタル不調やケガも増えている。退職不補充による削減とはいえ、年齢構成を考えないと現場が回らなくなる。</p>
当局の主張	<p>扶養手当、前例については引き続き検討と考えている。休暇制度については国の改定に基づき、国に満たない分は追いつくようになるよう検討している。国府から詳細が示され次第具体的に検討していきたい。</p> <p>例年各部で次年度の業務を見込む中で、必要性等を勘案し指定している。指定の理由については十分確認が必要と考えている。また、時間外勤務が過大だった部署にはアルバイトを配置したが、対応の時期が適切だったかについては課題があると認識している。</p> <p>方針をもとに進めていくが、不安な方にはしっかりと対応していきたい。</p> <p>年齢構成の課題は認識している。どう対応していくかは考えないといけない。</p>